

# 区分5 非正規雇用関係(正社員転換・転職型)

## (サブタイトル)知識取得にとどまらず、介護職の正規転換・転職を目指すプログラム

### (開発した訓練の特徴等)

訓練の内容:①～⑥を通学(座学+実習)及び通信で受講する。  
 ①介護技術 ②介護福祉士実務者研修 ③認知症ケア法  
 ④介護ロボット・ICTにふれる ⑤職場実習 ⑥介護福祉試験対策  
 訓練の対象となる業種・職種等:  
 非正規雇用の介護職従事者、介護職への就職を希望する介護未経験者を対象。  
 介護技術の基礎から学ぶことができ、認知症ケア法や介護ロボット・ICTにふれる等、  
 介護の幅広い知識を醸成していく。介護福祉士受験要件の実務者研修も受講するため、  
 働きながら介護福祉士を目指し、資格取得後は正規雇用で介護の中核的人材へと成長していく。

### (受講のメリット)

- ・介護技術の基礎から学ぶことができるため、介護未経験者も受講可能。
- ・介護福祉士受験要件の実務者研修を受講するため介護福祉士を目指すことができる。また、試験対策講座を組み込み、受験までサポート。
- ・職場実習で様々な介護の職場体験ができる。

### (実施した時の環境等)



訓練名 :「介護キャリアアップ応援プログラム」  
 募集期間 :令和元年4月25日～6月7日  
 募集方法 :チラシ制作、媒体広告(リビングたかまつ掲載)  
                   香川県内介護施設訪問、介護施設及び障害者施設DM送付  
                   チラシ設置(県内ハローワーク等)  
 応募人数 :30人  
 受講人数 :20人(選考により受講者を決定)  
 受講日時 :令和元年6月16日～12月8日(6ヵ月間) 日曜(9:30～16:30)  
 受講時間 :通学(座学+実習)117時間・通信405時間  
 受講料 :30,000円(税込)  
 社会人受講生のための配慮:  
           座学は授業を音声録音し、欠席者に自宅で聴講いただき、レポートを提出

## 区分5 非正規雇用関係(正社員転換・転職型)

### (訓練を実施する上で注意する点)

訓練の目的は単なる知識醸成ではなく、介護職の「非正規から正規への転換」や「他業界から介護職への転職」を促進することである。

#### 【非正規から正規への転換、転職を促進するためのポイント】

- 職場実習・見学の参加を推進し、介護職に入っていくハードルを下げることや不安払拭に繋げる。
- 実務者研修受講、介護福祉士試験対策講座を実施し、資格取得を促進する。介護福祉士を取得することで、正規転換への自信を醸成する。
- 職場見学の中で先輩介護士から話を聞く時間を設け、ロールモデルを明示する。
- ボディメカニクスに応じた介護技術の習得によりこれまで自己流で行っていた介護技術の点検になったり、介護のコツを発見する。
- 通学と通信を組み合わせ、負担にならない通学日数に設定する。通学時は、受講者同士のコミュニケーションを活性化し、情報交換の場を提供する。
- 介護ロボットやICTを身近に感じてもらい、介護業界の生産性向上に繋げる。



#### (受講者等からの声)

- ・介護の知識が全くない状態から仕事を始めて約6年になります。最初の職場で教わったことが普通だと思って行動していましたが、この授業で介護技術を改めて学ぶことで得たことが多く、これからもっと身につけていけたらいいなと思いました。
- ・クラスが少数でコミュニケーションが行き届いているのがよかったです。私とは違う種類の職場で働く人から話を聞くことで、介護の種類がいろいろあることがわかりました。
- ・介護職としての意識が変わりました。専門職としての介護職の役割が社会に広く認識されることを望みます。

(受託事業者)株式会社穴吹カレッジサービス 〒760-0022 香川県高松市西内町5-11 TEL087-823-0303

#### (詳細・問い合わせ先)

厚生労働省HP:[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_15220.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_15220.html)

厚生労働省人材開発統括官付参事官室(若年者・キャリア形成支援担当)中長期的キャリア形成支援係 03-5253-1111(内線5390・5398)



介護技術(実習)



職場実習(障害者施設)



職場見学(特別養護老人ホーム)



先輩介護士から話を聞く



ICTにふれる



実務者研修(医療的ケア)